

## 中小企業の柔軟性と機動力を活かし 現場のニーズを迅速に製品化

医療・介護の現場の多種多様なニーズの一つひとつ耳を傾け、「医工連携」で医療・福祉関連製品の開発に臨む株式会社樋原製作所。安全性と強度を最重要視し、設計から製品化までスピーディーにこなす、同社の高度な技術開発力を紹介する。

撮影/木村哲也



車いす利用者の頭部・頸部を守る「スマートレスト」は、低反発タイプ(左)もある。価格は、いずれも2万5000円程度と比較的リーズナブル

**高齢者の死亡事故を機に  
「命を守る」製品開発に着手**

ADLが低下した高齢者にとって車いすは不可欠なアイテムだが、その多くは車載を想定していない。昨年11月、富山県内で通所事業所の福祉車両に乗車した車いす利用者の送迎中の死亡事故が相次ぎ、車両と同様、車いすにも頭部・頸部を保護するヘッドレストの必要性が認識されるようになった。

そんななか、大阪府堺市で金属加工業を営む株式会社樋原製作所は、この痛ましい事故からわずか3カ月後の今年2月から車いす用ヘッドレストの開発に着手した。

同社のような地元の中小企業を支援する堺市産業振興センターは、成長産業である健康・医療・介護・看護分野への参入に向け、医工連携促進事業として3年前に「やさしい健康医療ものづくり研究会」を発足。この研究会で中核的な役割を担う同社は、これまでも車いすや歩行器に装着する「点滴ポール」、点滴スタンドと車いすを一体化させる連結器「スマートキャッチャー」等々、医療関連製品

「スマートレスト」の  
ココがすごい  
!



「スマートレスト」は、  
どんなタイプの車いすにも  
低コストで  
装着することができます

株式会社  
樋原製作所  
代表取締役社長  
樋原壽一さん



### 「医工連携」で現場のニーズを製品に反映

大阪府看護協会会長の高橋弘枝さん（前列右）が開発メンバーの一人として参画し、医療・介護・福祉にわたるさまざまな現場の看護師たちから意見を収集



### 中小企業ならではの柔軟性を 「ものづくり」に遺憾なく発揮

堺市産業振興センターの協力のもと、「さかい健康医療ものづくり研究会」のリーディング・カンパニーとして、医療関連製品で“堺ブランド”の確立をめざす

【問い合わせ先】

株式会社樋原製作所

●大阪府堺市南区大庭寺 611-3

TEL 072-293-1111

URL www.hbrind.co.jp/

### あらゆるタイプの 車いすに対応

手押しハンドルに装着することで安全性が向上。今後は車載や障害者スポーツなどへの応用も期待できる



### 車いす利用者に配慮した安全設計

身体の状態に応じて、ヘッドレストを上下・左右・前後に調整でき、強度にも万全を期しているので安心・安全

を短期間で開発した実績を有す。今回手がけた車いす用ヘッドレスト「スマートレスト」は、ほとんどの車いすに装着可能。車いす利用者の身体の状態に応じて、上下・前後・左右と自在に調整できる。今年4月には検査機関での耐久性試験に合格するなど、強度と安全性にも万全を期している。

同社代表取締役社長の樋原壽一さんは「現場の方々の声に常に耳を傾け、ニーズ、ウォンツを迅速にカタチにするのが当社のモットーです」と話しており、今回の製品開発でビジネスパートナーと

して、現場の声をとりまとめた大阪府看護協会会長の高橋弘枝さんの存在は大きかったという。

「看護師が自身の視点から製品開発に積極的に参画することによって、医療・介護の質は確実に向上します」と高橋さん。その言葉通り、「スマートレスト」には、ありとあらゆる現場の看護師たちのたくさんの思いが反映されている。

同社は今後も長年培った技術開発力と中小企業ならではの柔軟性を最大限に発揮し、ものづくりを通じて医療・介護従事者をバックアップしていく方針だ。